

次期・金沢産農産物ブランド戦略骨子案についてのパブリックコメントにおけるご意見の概要と金沢市の考え方

1. 募集期間 令和7年11月28日（金）～令和7年12月27日（土）
2. 提出方法 メール、郵便、ファクシミリ又は窓口へ持参
3. 意見数 4件（意見者数2人）

No.	ご意見の概要	金沢市の考え方
1	<p>旬の食材のレシピや栄養についての情報はすぐに手に入るが標準的な情報であり、「私（の体質）に合うか？」が今後求められると思う。</p> <p>現在の「レシピや栄養」の情報に「体質に合うか」の情報が加われれば、食材購入時の選択基準が増え、より付加価値を感じてもらえるはずである。</p>	<p>消費者にとって、食材としての栄養素や健康維持などの観点は重要であると考えており、いただいたご意見については、今後、参考とさせていただきます。</p>
2	<p>日常生活のあらゆる場面で特産品のイメージに触れることが購買に大きく影響するため、24時間を通じた継続的な情報発信が重要だと思う。</p> <p>そのためには、従来の観光大使による非営利PRに加え、栄養学だけでなく分子栄養学、腸内細菌学、薬膳学といった分野の食の資格を有する専門家によるPRが必要だと考える。</p> <p>食資格保有者による当該分野でのレシピや加工品に対する認定制度を設けてはいかがか。</p>	<p>いただいたご意見については、今後、金沢ブランド農産物の消費拡大に向けて参考とさせていただきます。</p>
3	<p>「加賀野菜の多くで栽培戸数や出荷量が大幅に減少しており、特に「希少品目」（へタ紫なす、金沢せり等）は存続が危ぶまれています。」となっている。</p> <p>経営が難しい農家に頼る戦略のみでは困難なのではないか。</p> <p>例えば、家庭菜園なども含め、農家以外の対策も戦略に含めてはいかがか。</p>	<p>加賀野菜の希少品目については、まずは栽培に取り組んでいただける方の確保が喫緊の課題であると考えています。</p> <p>いただいたご意見については、今後の参考にさせていただきます。</p>

No.	ご意見の概要	金沢市の考え方
4	<p>ブランド戦略により農家の経営がよくなったのか。ここがかなりあやしいと見ている。高価になり市民の口にも入りにくくなった。</p> <p>ブランド戦略は、実はプランテーション戦略なのではないか。つまり、市外の富裕層のために生産する農法なのではないかという疑惑が高まっている。</p> <p>ブランド戦略について再度、検討が必要に思う。</p>	<p>本市では、「加賀野菜」や「金沢そだち」を「金沢ブランド農産物」と位置づけ、生産振興と安定的な消費の両立をめざし、本戦略を策定しています。</p>

(注) ご意見については、一部要約して記載しています。